

※新型コロナウイルス対策のもとで開催します。中止があり得ます。

- ・定員は 40 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員（1 名／社）から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。
- ・越境に関する行政・世論の懸念が深刻の場合、受講者の所在地に制限を設けさせていただくことがあります。
- ・発熱や風邪の症状が認められる場合、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用し、手洗い、咳エチケットにご留意ください。
- ・入口にアルコール消毒液を準備しますので、ご利用ください。
- ・換気のため、会場の出入口や窓は常時開放します。
- ・後日、会員限定のもと当日のビデオ撮影版を配信します。

令和 2 年 11 月 4 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 163 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 2 年 11 月 27 日（金） 14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀 2 階会議室（佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711）

話 題：令和 2 年 7 月九州豪雨地盤災害と気候変動に伴う河川堤防の危険度評価に向けた取り組み

講演者：九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 准教授 石蔵 良平 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

近年、九州では豪雨による地盤災害が多発している。今後の気候変動に伴う災害外力の増加によって、土構造物の被害の拡大が懸念される。

本講演では、平成 29 年九州北部豪雨や令和 2 年 7 月九州豪雨において、河川堤防やため池などの土構造物に発生した被災形態の特徴を中心に紹介する。また、筑後川を対象として、将来気候下で発生し得るハイドログラフを用いたパイピング破壊に対する河川堤防の危険度評価に向けた取り組みや気候変動に対する適応策についても併せて紹介する。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたは FAX でご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内